

平成 19 年 9 月 27 日

## 集中環境施設における造粒固化体収納ドラム缶保管場所での 漏出物の発見について

平成 19 年 9 月 26 日午後 3 時 30 分頃、集中環境施設\*<sup>1</sup> 1 階に設置した造粒固化体\*<sup>2</sup> 収納ドラム缶保管場所（放射線管理区域）において、床面に漏出物があることをパトロール中の当社社員が発見しました。

当該漏出物は、保管場所にあるドラム缶の一部から収納物が漏出し、固形化した可能性が考えられますが、今後、当該漏出物については、汚染を拡大させないよう作業区域を設定するなどの処置を行い回収するとともに、原因について調査いたします。

なお、当該漏出物には放射能が確認（濃度は約 13.7 ベクレル/cm<sup>3</sup>）されておりますが堰内にあること、また、当該漏出物の周囲の床面に放射能汚染がないことから、本事象による外部への放射能の影響はありません。

以 上

\* 1 集中環境施設

発電所で発生する放射性廃棄物を処理するための施設。

\* 2 造粒固化体

廃棄物を乾燥させることにより減容し、ペレット状に固化したものを。